

株主の皆様へ

第29期中間報告書

平成20年4月1日～平成20年9月30日

# Business Report

KYORITSU  
共立印刷株式会社



証券コード：7838



## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

第29期事業年度中間期（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）が終了いたしましたので、中間報告書にて事業の経過をご報告申し上げます。

営業の概況につきましては、別掲のとおりでございますが、当中間期の業績は、売上高173億8千万円（前年同期比0.7%増加）、営業利益8億1千7百万円（前年同期比15.3%減少）、経常利益7億2千2百万円（前年同期比12.6%減少）、中間純利益3億2千3百万円（前年同期比33.6%減少）となり、売上高は前年並を確保しましたものの、厳しい業界環境や用紙をはじめとする資材高騰の影響を受け、利益面においては、所期の目標を下回る結果となりました。

当社グループは、生産性向上のため、継続的な設備の増強並びに更新を行っております。今期は老朽化した輪転機8台を廃棄し、最新型高速オフセット輪転機を5台導入し、減台の上、効率化を図る計画でございますが、上期におきましては、3台を廃棄し、2台の導入を行い、予定どおりに計画が進捗しております。下期には、最新鋭の高速オフセット輪転機5台がフル稼動することから、収益力が向上

すると考えております。

また、内部統制の構築も完了し、東証一部上場企業としてふさわしい、誠実な経営を実践してまいり所存でございます。

なお、当中間期につきましては、誠に遺憾ながら2円減配の1株あたり5円を株主配当金とさせていただきます。

通期（平成21年3月期）の連結業績につきましては、売上高351億円、営業利益16億1千万円、経常利益14億円、当期純利益6億1千万円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年12月

代表取締役社長

野田勝憲



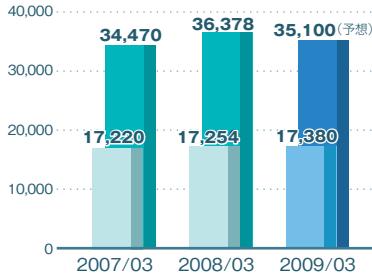
## CONTENTS

株主の皆様へ	1	工場のご紹介	4
連結業績ハイライト／トピックス	2	中間連結財務諸表	5
営業の概況	3	会社概要／株式の状況	6

## 連結業績ハイライト

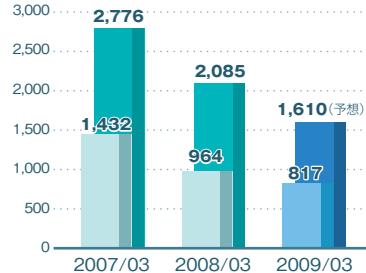
### 売上高

(百万円)



### 営業利益

(百万円)



### 当期純利益

(百万円)



## TOPICS

### 印刷設備の増強



高速オフセット輪転機を2台増設しました。旧型輪転機3台を廃棄し、下期に完成する「新・32台体制」に向けて、工場再編計画を進めています。

また、輪転機を2台ごとに対面配置し、効率的なオペレーションができる環境を整えています。

### CO<sub>2</sub>削減プロジェクトを始動



環境省の「チーム・マイナス6%」に参加し、こまめな電源オフ、適切な冷暖房設定など、全社員でCO<sub>2</sub>の削減に取り組んでいます。

また、2008年7月に、FSC認証を取得しました。FSCマークのついた製品を提供し、地球に優しい森林管理を応援します。

### 製本設備の増強



2008年2月に、最新型の中綴製本機を5台増設しました。毎時1万5千冊の高速製本を行うコルプスの無線綴製本機とラッピング機の稼働も始まり、印刷工場と連携した新しい生産ラインがスタートします。

### プライバシーマークを取得



2008年4月に、プライバシーマークを取得しました。全社員が適切な情報管理のための教育プログラムに参加しています。本社と工場におけるセキュリティ体制を強化し、顧客の安心を守ります。

## 営業の概況

### 当中間期の概況

当中間期におけるわが国経済は、米国金融危機を起因とする世界経済の同時減速に資源価格高騰の要因が重なり、景気の減速感が一層強まってまいりました。

印刷業界におきましては、紙、インキを中心とする原材料価格の高止まりや受注競争の激化とともに消費動向の減退、出版市況の冷え込みなど、依然厳しい経営環境が続いております。

当社グループはこのような環境下において、同業他社との差別化を図るため、工場再編に取り組んでおります。印刷工場においては、老朽化した輪転機を廃棄し、減台の上、最新鋭機に入れ替えております。また、製本工場においては、2008年2月に中綴製本機を5台増設するとともに、今期ラッピング機を本格稼動いたします。本庄地区に、

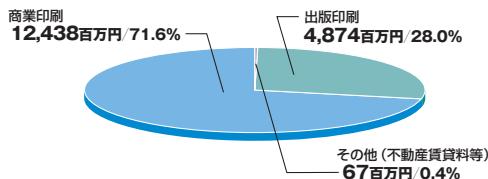
印刷から物流までのワンストップ生産体制を確立し、収益力の回復に努めております。

これらの結果、当中間期の売上高は、173億8千万円（前年同期比0.7%増加）となりました。

上記の増収効果はありましたものの、用紙などの原材料費の高止まりや生産設備の増強に伴う原価増により、営業利益は、8億1千7百万円（前年同期比15.3%減少）となりました。経常利益につきましては、借入金の返済による支払利息の減少などがありましたものの、7億2千2百万円（前年同期比12.6%減少）となりました。また、中間純利益につきましては、工場再編に伴う固定資産除却損や金融資本市場の混乱による投資有価証券評価損の影響により、3億2千3百万円（前年同期比33.6%減少）となりました。



製品種類別売上高



#### 商業印刷

チラシ、カタログ、パンフレットを中心とする商業印刷につきましては、チラシにおいて受注量が減少した媒体はありましたものの、通販カタログの受注増加などにより、前年同期比5億3千5百万円（4.5%）増加し、124億3千8百万円となりました。

#### 出版印刷

書籍、雑誌を中心とする出版印刷につきましては、中古車雑誌の発行部数増加など一部取引の拡大が見られました。しかしながら、旅行関連の書籍・雑誌の減少や出版業界全体の冷え込みもあり、前年同期比4億3千万円（8.1%）減少し、48億7千4百万円となりました。

## 工場のご紹介

共立印刷グループは、首都圏に大規模工場を集約し、CO<sub>2</sub>の排出を最小限に抑えた「印刷→製本→ラッピング」のワンストップ生産を行っています。高い印刷品質管理とスピード力を活かし、多様化する時代のニーズに応えます。

### PICK UP 1 本庄第1工場

#### ■ 国内最大級の印刷拠点

本庄第1工場では、24時間大型高速輪転機が一斉稼動しています。数百トンもの用紙の管理から、納品に至るまで全工程がオートメーション化されています。ミシン目付きのクーポンチラシや大迫力のパノラマ折りなど、特殊加工機能も充実しています。



巨大な大型高速輪転機が並ぶ

#### ■ 21世紀の印刷をリードする環境配慮型工場

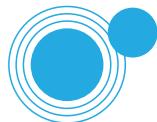


左：特色インキをコンピュータで調合・製造するCCM  
中：地球に優しい大豆インキ 右：再生紙製造への対応

本庄第1工場は、2004年より継続してISO14001認証を取得しています。無駄を省いた機械配置、3R（エネルギーや資源の、リサイクル・リユース・リデュース）の徹底により、人と地球に優しいものづくりを目指します。



本庄児玉I.C.



関越自動車道



### PICK UP 2 製本第3工場

#### ■ 「製本」→「ラッピング」ライン

製本第3工場では、最新鋭のコルプス製本機とラッピング機が連携稼動しています。通販のニーズに応え、高速製本した複数のカタログを顧客ごとにセレクトし、ビニール封入する製本加工の新しいカタチを提案します。



毎時1万5千冊の高速製本を行うコルプスの無線綴製本機



郵送用のラッピング

#### ■ 徹底した情報セキュリティ

個人情報を取り扱うため、ICカードによる入退室の二重管理、監視カメラによる動体の自動記録など最新の情報管理体制が整っています。

## 中間連結財務諸表

### 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第29期(中間)	第28期(前期)
	平成20年9月30日現在	平成20年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	11,502	13,756
固定資産	16,028	16,393
有形固定資産	14,069	14,468
無形固定資産	67	77
投資その他の資産	1,890	1,846
資産合計	27,530	30,150
(負債の部)		
流動負債	11,485	14,221
固定負債	5,784	5,698
負債合計	17,270	19,920
(純資産の部)		
株主資本	10,178	10,147
資本金	2,511	2,511
資本剰余金	2,505	2,505
利益剰余金	5,161	5,130
評価・換算差額等	81	82
その他有価証券評価差額金	81	82
純資産合計	10,260	10,229
負債純資産合計	27,530	30,150

### 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第29期(中間)	第28期(中間)
	自平成20年4月1日 至平成20年9月30日	自平成19年4月1日 至平成19年9月30日
売上高	17,380	17,254
売上原価	15,168	14,701
売上総利益	2,211	2,553
販売費及び一般管理費	1,394	1,589
営業利益	817	964
営業外収益	28	18
営業外費用	122	156
経常利益	722	826
特別利益	0	2
特別損失	149	57
税金等調整前純利益	574	772
法人税、住民税及び事業税	251	285
中間純利益	323	486

### 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	第29期(中間)	第28期(中間)
	自平成20年4月1日 至平成20年9月30日	自平成19年4月1日 至平成19年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	267	1,071
投資活動によるキャッシュ・フロー	△663	△32
財務活動によるキャッシュ・フロー	△608	△205
現金及び現金同等物の増減額	△1,004	833
現金及び現金同等物の期首残高	5,555	4,580
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,551	5,414

## 会社概要

平成20年9月30日現在

### 会社概要

本社所在地	東京都板橋区清水町36番1号
設立年月日	昭和55年8月1日
資本金	25億1,135万円
従業員数	497名
工場	<p>■本庄第1工場・本庄第2工場 埼玉県本庄市いまい台1丁目32</p> <p>■製本第1工場 埼玉県児玉郡上里町嘉美字立野南1600-13</p> <p>■製本第2工場 埼玉県本庄市いまい台2丁目74</p> <p>■製本第3工場 埼玉県児玉郡上里町嘉美字立野南1424-1</p>
営業所	札幌／名古屋／大阪／高松
子会社	<p>(株)インフォビジョン</p> <p>(株)ケーアンドエムプロセス</p>

### 役員構成

代表取締役社長	野田 勝憲	
取締役副社長	倉持 孝	営業統括・生産統括
常務取締役	木村 純	管理統括
常勤監査役	反怖 紀久	
監査役	秋沢 志篤	ヒーローズエデュテイメント(株)代表取締役会長
監査役	窪川 秀一	公認会計士・税理士
執行役員	船木 敏勝	工場管理本部長
執行役員	平川 清三	第1営業本部長
執行役員	狩野 博紀	第2営業本部長
執行役員	磯本 隆	生産管理本部長
執行役員	川瀬 佳介	製造本部長

## 株式の状況

平成20年9月30日現在

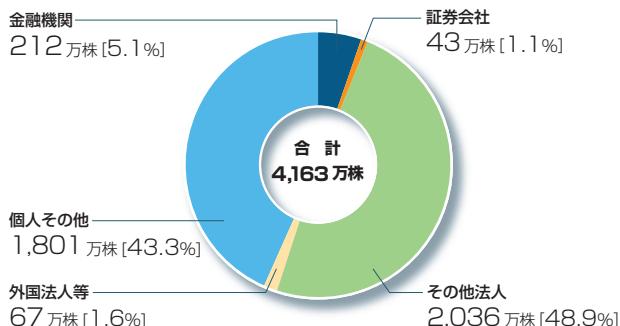
### 株式の状況

発行可能株式総数	130,720,000株
発行済株式総数	41,630,000株
株主数	3,987名

### 大株主

株主名	持株数(万株)	持株比率(%)
野田 勝憲	741	17.8
(有)ウエル	658	15.8
東京インキ(株)	219	5.3
(株)小森コーポレーション	203	4.9
井奥 貞雄	104	2.5
(株)バルーナ	100	2.4
(株)プロトコーポレーション	100	2.4
東京紙パルプ交易(株)	70	1.7
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	67	1.6
共立印刷社員持株会	61	1.5

### 所有者別株式分布状況



## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日
	期末配当金 3月31日
	中間配当金 9月30日
	(中間配当を実施する場合)
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都港区芝3丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 (証券代行事務センター) TEL.0120-78-2031 (フリーダイヤル)
同取次窓口	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店・全国各支店
公告の方法	電子公告の方法により行います。 但し、やむをえない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL <a href="http://www.kyoritsu-printing.co.jp/">http://www.kyoritsu-printing.co.jp/</a>
上場取引所	東京証券取引所 市場第一部

## 株券電子化実施後の手続のお申出先について

平成21年1月5日(月曜日)から、上場会社の株券電子化が実施されます。これに伴い、上場会社の株券はすべて無効となり、株主様の権利は電子的に証券会社等の金融機関の口座で管理されますので、以下のとおり手続のお申出先が変更となります。

### 1. 株券電子化後の未払配当金の支払のお申出先

これまでどおり、株主名簿管理人にお申出ください。

### 2. 株券電子化後の住所変更、単元未満株式の買取、配当金受取方法の指定等のお申出先

① 証券保管振替機構(ほふり)に株券を預けられている株主様：  
お取引証券会社等

② 証券保管振替機構(ほふり)に株券を預けられていない株主様：  
特別口座を開設する下記口座管理機関

なお、②に該当される株主様につきましては、証券会社等のご本人様口座への振替請求を含めまして、お申出を受理することができるのは、特別口座に記録されます平成21年1月26日(月曜日)からとなりますのでご了承ください。

口座管理機関	東京都港区芝3丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同ご照会先	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	TEL.0120-78-2031 (フリーダイヤル)
電話照会先	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
同取次窓口	日本証券代行株式会社 本店・全国各支店

## 株券電子化実施前後の単元未満株式の買取請求のお取扱いについて

株券電子化制度への移行に伴い、ほふりに株券を預けられていない株主様の単元未満株式の買取請求につきましては、次のとおりのお取扱いとさせていただきますのでご了承願います。

- 平成20年12月25日(木曜日)から平成21年1月4日(日曜日)(実質平成20年12月30日(火曜日))までに受付したものの買取代金の支払は平成21年1月26日(月曜日)とさせていただきます(買取価格はご請求日の終値となります。なお、平成20年12月30日までに値が付かない場合は返却させていただきます)。
- 平成21年1月5日(月曜日)から平成21年1月25日(日曜日)までの間、単元未満株式の買取請求の受付を停止します。

なお、ほふりに株券を預けられている株主様に関しましても、株券電子化前に単元未満株式の買取請求の取次停止期間が設けられますが、詳細はお取引証券会社等にご確認ください。

## 株券電子化実施後の配当金受取方法のお取扱いについて

株券電子化により、従来の配当金振込口座のご指定方法に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で株主様の保有しているすべての銘柄の配当金のお受取りや、証券会社の口座でも配当金のお受取りが可能となります。

詳しくはお取引証券会社等にお問合せください。

**KYORITSU**  
共立印刷株式会社

〒174-8860 東京都板橋区清水町36番1号  
TEL.03-5248-7801(管理本部)



環境保全のため、FSC森林認証紙と大豆インキを使用しています。